

かぞ 市議会だより

発行日／令和5年3月1日
発行／加須市議会
〒347-8501 加須市三俣二丁目1番地1
TEL 0480 (62) 1111(代)
<https://www.city.kazo.lg.jp/>

●第55号●

◎注目記事



福祉3医療費を拡充する
補正予算を可決



市議会モニターとの
意見交換会を開催

こいのぼり特別展示会が行われました(騎西総合体育館 ふじアリーナ)



第4回定例会のあらまし……	P 2～3	議案に対する質疑……	P 4～5
常任委員会の審議内容……	P 6	議案等の審議結果……	P 7～8
議案等に対する討論……	P 8	市政に対する一般質問……	P 9～14
議会活動等……	P 15	傍聴者の皆様へ……	P 16

市議会に関する情報は、ホームページをご覧ください。

加須市 議会

検索



◎本会議のインターネット中継を実施しています。

一般会計補正予算等可決

主な議案等の一部を紹介します。

令和4年度一般会計補正予算(第8号)

・民間保育所助成事業

(1037万6千円)
民間保育所・認定こども園における新型コロナウイルス感染症予防対策に要する経費及び原油価格・物価高騰等の影響を受ける施設の運営継続を支援します。

・学校教育管理事業

(518万円)
小・中学校におけるさらなる新型コロナウイルス感染症予防対策に要する経費です。

・公立保育所管理運営事業

(496万1千円)
令和5年4月から低年齢児の受け入れを増やすため、わらべ保育園の保育室改修や備品購入に要する経費です。

種類	改正項目	改正内容※
子育て支援医療費	支給対象となる児童の年齢の上限	15歳→18歳
ひとり親家庭等医療費	自己負担金が不要となる児童の年齢の上限	15歳→18歳
	現物給付の年齢の上限	15歳→なし
重度心身障害者医療費	入院時食事療養費の支給対象者の年齢の上限	15歳→18歳

※該当年齢の年度末までが対象

・子育て支援医療費支給事業 (594万6千円)
・ひとり親家庭等医療費事業 (124万7千円)
・重度心身障害者医療費支給事業 (33万円)
子育て支援の一層の推進を図るため、令和5年7月診療分から福祉3医療の支給対象年齢の引き上げや、制度の充実を円滑に行うために必要なシステム改修などの経費です。

・小学校施設整備事業

(2002万7千円)
老朽化した小学校プール¹の循環ポンプの交換に要する経費及び児童数増加に伴う教室の整備等に要する経費です。



・乳幼児健診事業

(147万6千円)
3歳児健診において、斜視や弱視等の異常の早期発見・早期治療へつなげるため、目の屈折検査用機器を導入するための経費です。

・物産観光協会支援事業

(800万円)
加須市物産観光協会が観光庁の採択を受けて実施する市のサイクリング

ブランド「KAZOLING(カゾリング)」と「東武鉄道と連携した利根川水系サイクリングのハブ化事業」を支援します。

・庁舎維持管理事業

他24事業
(合計2億84万8千円)
長引く原油高の影響を受け、公共施設の電気料や燃料費の不足分を措置します。

令和4年度一般会計補正予算(第9号)

・新型コロナウイルス感染症予防対策事業

(2447万円)
新型コロナウイルス及び季節性インフルエンザの同時流行による医療機関の逼迫の回避と感染拡大の防止を図るため、新型コロナウイルス及びインフルエンザの同時検査キットを無料で配布するための経費です。

第4回定例会のあらまし

令和4年第4回定例会は、11月25日から12月12日までの18日間の会期で開催しました。

今期定例会では、令和4年度一般会計補正予算をはじめとした市長提出議案等26件を審査し、20件を原案可決、6件の人事案件に同意しました。

このほか、提出された1件の陳情を趣旨採択としました。

なお、審議結果については、7ページから8ページをご覧ください。

令和4年度介護保険事業
特別会計補正予算(第2号)

・介護予防・生活支援サー
ビス等事業

(1489万6千円)

元気あつぷ訪問サービ
ス及び元気あつぷ通所サー
ビスの利用者の増加に伴
い、事業費予算を増額し
ます。

条 例

◇加須市個人情報保護の保護
に関する法律施行条例

個人情報保護の保護に関す
る法律の一部改正により、
同法の規定が地方公共団
体に適用されることに伴
い、同法の施行に関し必要
な事項を定めるとともに、
関係条例について所要の
改正をするものです。

◇加須市医療診断センター
条例及び加須市医療診断
センター運営委員会条例
を廃止する条例

加須市医療診断センター

の機能を有する埼玉県済
生会加須病院の開院を踏
まえ、当該センターを廃止
するとともに、加須市医療
診断センター運営委員会
を廃止するものです。

◇加須市議会議員の議員
報酬及び費用弁償等に関
する条例の一部を改正す
る条例

◇加須市特別職職員の給
与等に関する条例及び加
須市教育委員会教育長の
給与等に関する条例の一
部を改正する条例

◇加須市一般職職員の給
与に関する条例及び加須
市会計年度任用職員の給
与及び費用弁償に関する
条例の一部を改正する条
例

人事院勧告及び埼玉県
人事委員会勧告を踏まえ、
市議会議員、市長、副市長
及び教育長の期末手当並
びに一般職職員及び再任
用職員の勤勉手当の額を
改定するとともに、若年層
の一般職職員及び会計年

度任用職員の給料月額を
改定するものです。

人事案件

〔加須市公平委員会委員の
選任について〕

保科 基晴氏 (新任)
(上崎)

〔人権擁護委員の候補者の
推薦につき意見を求める
ことについて〕

瀬 正行氏 (再任)
(花崎一丁目)

横塚 雅光氏 (再任)
(佐波)

関根 明美氏 (再任)
(中種足)

五十畑 勝己氏 (再任)
(麦倉)

宮下 克美氏 (新任)
(騎西)

陳 情

◇感染症対策における子
どもの権利に関する陳情
(趣旨採択)

議会でタブレットを導入しました

議会では、全議員にタブレット端末を貸与し、各種会議等におけるペーパーレス化に取り組むほか、議員活動の利便性の向上を図るため、その活用を開始しました。

令和4年11月1日からは、会議開催通知等のほか、執行部からの情報提供を、また令和4年第4回定例会からは、議案を含む会議資料をタブレットで閲覧しています。

なお、各種会議においては、現在、紙の資料と一部併用していますが、令和5年度は冊子等を除き、完全ペーパーレス化を目指して取り組みます。



議案等のページ検索イメージ



デジタルペンによる書き込み

議員表彰



吉田 健一議員



【総務大臣感謝状】

地方議会議員として35年以上在職し、地方自治の発展に貢献した功労により、総務大臣から感謝状が贈呈されました。

私たちが慎重に チェック

可決された 主な議案と 疑質

令和4年度一般会計 補正予算(第8号)

- ・子育て支援医療費支給事業
- ・ひとり親家庭等医療費事業

・重度心身障害者医療費支給事業

議員 施行期日を令和5年7月1日とした理由をお伺いします。

こども局長 関係議案の可決成立後に行うシステム改修等におおむね6カ月程度の期間が必要になること、また、ひとり親家庭等医療費と重度心身障害者医療費を含む3種類の医療費の拡充を、同時一体的に行うためです。

・小学校施設整備事業

議員 プールの循環ポンプを交換するのではなく、民間スイミングスクールプールの利用に振り分けることを検討したのかお伺いします。

生涯学習部長 小学校の

水泳授業は、小学校プールの共同利用、民間スイミングスクールプールの利用及び自校のプールを単独利用の3つの形態として、令和6年度までの計画を定めて実施しています。民間プールを利用した水泳指導は、令和4年度から実施している2校での課題を踏まえ、今後のプール集約化の計画の見直しを検討してまいります。

・乳幼児健診事業

議員 令和5年2月以降、3歳児健診における目の検査として屈折検査機器を導入する理由をお伺いします。

こども局長 検査精度の向上と検査時間の短縮を図り、斜視、弱視等の異常の早期発見、早期治療につなげるため導入しました。



・物産観光協会支援事業
議員 東武鉄道サイクルトレインツアーの内容についてお伺いします。

経済部長 観光庁からの補助金を活用し、加須市物産観光協会を事業の実施主体とし、東武鉄道株式会社などと連携して実施するものです。「サイクルトレイン」を浅草方面と加須駅間で往復運行するもので、サイクリストの参加を募り、市内及び市外の観光スポットなどを巡っていただく予定です。

議員 この事業に取り組む市長の考えをお伺いします。

市長 本市では平成24年に加須市自転車生活促進計画を策定し、それを契機として環境問題や健康づくりなどの面から、自転車によるまちづくりを進めてまいりました。本事業では、本市を広域的なサイクリングのハブ(拠点)とし

て、市内に限らず、より広域的なサイクリング企画の誘致につなげ、今後、より多くのサイクリストに訪れてもらえるように、サイクリング適地としての加須市の認知度をさらに高めてまいりたいと考えっております。



令和4年度一般会計 補正予算(第9号)

・新型コロナウイルス感染症予防対策事業

議員 同時検査キット使用時の疑問点へどのように対応するのかお伺いします。

健康医療部長 同封するチラシに問い合わせ先を明記し、電話での対応を考えております。

加須市個人情報保護に関する法律施行条例

議員 本条例の内容をお伺いします。

総務部長 国の法律改正により、改正後の法律による全国共通ルールが適用されることとなりました。これにより、現在の条例は不要となりますが、一部の条項は、条例で各自治体が定める必要があることから、改正法の施行

に關し、本市に必要な事項を定めるために新たに条例を制定するものです。

議員 個人情報保護審査会の諮問対象についてお伺いします。

総務部長 従来からの諮問事項である情報公開請求や、個人情報の開示請求への開示決定等に対する審査請求に関することを基本として、今回新たな諮問事項として、個人情報情報の適正な取り扱いを

確保するため、特に諮問する必要がある場合を追加するものです。



- ・加須市子育て支援医療費支給に関する条例の一部を改正する条例
- ・加須市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例
- ・加須市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

議員 支給対象年齢を引き上げることとした理由をお伺いします。

子ども局長 子育て支援

医療費及びひとり親家庭等医療費については、支給対象年齢の引き上げを求め、県内市町村の実施状況等を踏まえ、子育て支援の

一層の推進を図るため行うものです。

福祉部長 子育て支援医

療費の見直しを踏まえ、重度心身障害者医療に係る入院時食事療養標準負担額については、対象年齢を満18歳に達する日以後の年度末まで引き上げることにより、支給対象者

を拡大し、制度の充実を図ることとしたものです。

議員 令和5年度の各医療費の支給額の増額の見込みについてお伺いします。

子ども局長 子育て支援

医療費は約3千万円、ひとり親家庭等医療費は約450万円の増額を見込んでおります。
福祉部長 重度心身障害者医療費は約5万4千円の増額を見込んでおります。

加須市医療診断センター条例及び加須市医療診断センター運営委員会条例を廃止する条例

議員 医療診断センターのこれまでの成果についてお伺いします。

健康医療部長 平成16年に開設し、医療機関からの依頼に基づく検査、脳ドック検査や乳がん検査などの健康診断業務について、地域の中核的な画像診断専門施設として、検査業務を一手に担ってきたところ。令和4年3月31日までに合計7万6499件の検査を行い、がんの早期発見や早期治療に結び付けることができ、加須医師会の協力の下、高性能で高額な医療機器の共同利用により、その役割を十分に発揮してきたものと認識しております。

議員 医療診断センター跡地の有効利用についての考えをお伺いします。

市長 令和4年10月19日に、市、加須医師会及び埼玉県済生会加須病院の三者で、当センターの活用に係る調整会議を設置し、具体的な活用についての協議を開始しています。現在、取りまとめ中の病院を核とした加須駅周辺の新たなまちづくり構想案の中では、当センターが加須駅に近く交通便利性に恵まれたポテンシャルの高い場所であることから、複合的な空間利用を図るものという表現で、リーディングプロジェクトの一つに位置付けています。今後、民間活力の導入も含め、民間性の高い事業展開ができるよう、地域、関係団体及び事業者などとの連携を深めながら、検討を進めてまいりたいと考えております。

その役割を十分に発揮してきたものと認識しております。



常任委員会の審議内容

常任委員会は、12月7日、付託された一般会計補正予算等の3案件（総務常任委員会2議案、民生教育常任委員会1陳情）について審査を行いました。

なお、委員会の主な審査内容は次のとおりです。

総務常任委員会

2議案 可決

委員長 金子正則
副委員長 池田年美
委員 吉田健一
松本英子
小林利一
野中芳子
中島正和
小坂徳蔵
赤坂和洋

《一般会計補正予算(第8号)》

・公共施設等の電気料及び燃料費の増額措置

問 補正予算に計上されていない公共施設等の対応は。

答 当初予算措置分や予算の流用により対応可能です。

・乳幼児健診事業

問 目の屈折検査機器を導入することにより、期待できる効果は。

答 精度の高い検査結果が得られるため、早期発見・早期治療へつなげることが出来ます。

・学校教育管理事業

問 購入を予定している備品等は。

答 手指消毒用のアルコール、ハンドソープ、CO₂モニターやサーキュレーターなどを予定しています。

す。

・債務負担行為の補正

問 騎西学校給食センター消毒保管機購入に関し、消毒保管機を購入する理由は。

答 北川辺学校給食センターの廃止に伴い、騎西学校給食センターの調理数が増えるため、6台を入れ替え、さらに2台を追加購入する予定です。



《加須市個人情報保護に関する法律施行条例》

問 市にある個人情報ファイルの件数は。

答 個人情報ファイルを取り扱う事務の届出件数は、令和3年度末時点で1114件です。

民生教育常任委員会

1陳情 趣旨採択

委員長 大内清心
副委員長 原田 悟
委員 竹内政雄
池田裕美子
齋藤理史
新井好一
山下雄希
及川和子
中條恵子

《感染症対策における子どもの権利に関する陳情》

問 本陳情で求めている丁寧な周知とは。

答(陳情者) 教育機関においてマスクを外してよい具体的な場面を、保護者や児童・生徒に対し、文書や口頭により繰り返し伝えることです。

問 本陳情は、陳情された会から県内の各市議会へ陳情または請願が提出されているのか。

答(陳情者) 提出されたと聞いています。
委員の意見 担当課長の説明では、マスクの着脱の無理強いはせずに対応しているとのこと。一方では、陳情者が勇気を持って陳情した思いも理解できます。今後コロナ禍の状況を踏まえな

がら、適切に対応していくことを求め、趣旨採択が妥当であると考えます。

委員の意見 陳情の内容は教育現場においておおむね対応されていると感じます。新型コロナウイルスの第8波の状況を注視しつつ、陳情者の思いは受け止め、趣旨採択が望ましいと思います。

委員の意見 本陳情の内容が保護者や子ども本人にきちんと理解されることとで、意思を示しやすくなることを考え、採択すべきです。



令和4年第4回定例会 議案等の審議結果

●全議員（議長及び欠席議員を除く）が賛成した議案等

	議案等番号	議案名等
市長 提出 議案	90	令和4年度加須市一般会計補正予算（第8号）
	91	令和4年度加須市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
	92	令和4年度加須市国民健康保険直営診療所特別会計補正予算（第2号）
	93	令和4年度加須市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
	94	令和4年度加須市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
	95	令和4年度加須市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
	96	令和4年度加須市水道事業会計補正予算（第2号）
	97	令和4年度加須市下水道事業会計補正予算（第1号）
	99	加須市手数料条例の一部を改正する条例
	100	加須市住民基本台帳事務に係る個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例
	101	加須市子育て支援医療費支給に関する条例の一部を改正する条例
	102	加須市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例
	103	加須市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例
	104	加須市医療診断センター条例及び加須市医療診断センター運営委員会条例を廃止する条例
	105	令和4年度加須市一般会計補正予算（第9号）
	106	令和4年度加須市下水道事業会計補正予算（第2号）
	107	加須市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
	108	加須市特別職職員の給与等に関する条例及び加須市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例
	109	加須市一般職職員の給与に関する条例及び加須市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
110	加須市公平委員会委員の選任について	
諮問	5	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
	6	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
	7	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
	8	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
	9	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

議案等番号	議案名等	審議結果	創政会			新政会			令和会		公明党		日本共産党		立憲民主党	無所属													
			小林利一	竹内政雄	新井好一	小坂裕	松本正行	田中良夫	吉田健一	山下雄希	金子正則	齋藤理史	小勝裕真	栗原肇	中島正和	原田悟	関口孝夫	赤坂和洋	中條恵子	大内清心	森本寿子	池田年美	佐伯由恵	及川和子	松本英子	小坂徳藏	池田裕美子	野中芳子	鎌田勝義
市長提出議案 98	加須市個人情報の保護に関する法律施行条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情 5	感染症対策における子どもの権利に関する陳情	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※審議結果の会派名は、一部略称で掲載しています。
 ※趣旨採択…請願・陳情について、願意は十分理解でき、趣旨には賛成という採択です。

議案等に対する討論

本会議での採決に先立ち、議案等に対する討論が行われました。討論の一部を掲載します。

**令和4年度一般会計
補正予算(第8号)**

賛成討論

新型コロナウイルス感染症対策、原油価格、物価高騰等への支援、来年度以降の新たなサービスを見据えた対応、緊急的かつ優先度の高い事業、サービスの利用増加に伴う予算が計上されています。その中でも、子育て支援医療費及びひとり親家庭等医療費の対象年齢を中学校卒業までの15歳から、高校卒業までの18歳へ引き上げることとし、それに伴い、ひとり親家庭等医療費の現物給付の要件をなくし、全ての対象者を現物給付対象としたこと、重度心身障害者医療費の入院時食事療養費にかかる支給対象者の年齢も18歳まで引き上げたことを高く評

価します。原油価格及び物価の高騰が続く、新型コロナウイルスの感染も拡大している状況の中で、市民のためにできることを考え、新たな事業を推進していただくよう要望し、本案に賛成するものです。

加須市個人情報の保護に関する法律施行条例

反対討論

本市の現行の個人情報保護条例は、市民の個人情報保護するために、収集の制限、目的外利用の制限、外部提供の制限及びオンライン結合の制限などの原則を定めています。原則に関

わる例外的な事例に関しては、個人情報保護運営審議会の意見を聞くことなどを定めています。ところが、国から命じられた本案には、個人情報を保護するための原則が全てなくなっています。個人情報保護法第69条第2項は個人情報の目的外利用と外部提供ができると定めており、さらに、オンライン結合制限の規定を設けることを禁止しています。法律により、市民の個人情報の目的外利用と外部提供が容認されているため、市民の個人情報の漏えいが懸念され、個人のプライバシーの侵害など、市民生活に大きな影響を及ぼすことは必至であると考え、本案に反対するものです。

第4回定例会 会期日程

- 11. 25(金) 本会議
- 11. 30(水) 本会議
(議案質疑)
- 12. 1(木) 本会議
(一般質問)
- 12. 2(金) 本会議
(一般質問)
- 12. 5(月) 本会議
(一般質問)
- 12. 6(火) 本会議
(一般質問)
- 12. 7(水) 常任委員会
- 12. 12(月) 本会議



ここが聞きたい!

市政に対する一般質問

議員は、定例会において市政全般に対する質問を行うことができます。これを「一般質問」といいます。今期定例会では、20人の議員が一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に10～14ページへ掲載しました。なお、詳細は会議録やホームページでもご覧いただくことができます。

竹内政雄議員 (創政会)

- 中川上流地区国宮かんがい排水事業について
- 小・中学校の諸課題について
- 歩道整備について

大内清心議員 (公明党)

- 子宮頸がん予防対策について
- 小・中学校の不登校対策について
- 埼玉一の健康寿命のまちを目指した取組について
- 高齢者肺炎球菌ワクチン接種の助成について
- SDGsを身近に感じてもらおう取組について

池田年美議員 (公明党)

- AEDの屋外設置と三角巾配備について
- ゼロカーボンシティ宣言について
- 自治体システムの標準化共通化について
- インフルエンザ対策について

森本寿子議員 (公明党)

- ヤングケアラー支援について
- 女性デジタル人材の育成について
- 企業版ふるさと納税について
- より良い幼児教育について
- 元和小学校の教育環境の充実について

山下雄希議員 (新政会)

- 国際交流への取組について
- ごみ集積所について

金子正則議員 (新政会)

- 県道の整備状況と工事の予定について
- 水深橋の安全対策について
- 地域おこし協力隊について
- (株)ジェイコムと加須市の協定締結について

赤坂和洋議員 (令和会)

- 地域医療ネットワーク「とねっと」について
- 高齢者福祉の充実について

関口孝夫議員 (令和会)

- 病院を核とした加須駅周辺の新たなまちづくり構想について

原田 悟議員 (令和会)

- 厚生労働省が2023年1月に施行を目指している「国民年金のスマホで納付」に対する準備状況について
- アレルギー対策として、学校給食予定表「当給食センターアレルギー対象者 アレルゲン品目」に「グルミ」を追加する準備状況について
- 加須市管理の都市公園の課題・管理状況について

中島正和議員 (令和会)

- 加須文化・学習センターパストラルかぞについて

及川和子議員 (日本共産党)

- 高齢者が必要な介護サービスを受けられる制度について
- コロナ禍と生理の貧困について
- 公立幼稚園の運営について
- コミュニティバスの運行改善について

池田裕美子議員 (立憲民主党)

- コロナピア選手団キャンプ受け入れに係る架空請求について
- 図書館の重要性と読書推進策について

佐伯由恵議員 (日本共産党)

- 新型コロナウイルス対策について
- インボイス制度の対応について
- 燃料費高騰対策について
- 米の次期作支援について

松本英子議員 (日本共産党)

- 補聴器購入の補助制度創設について
- 認知症対策について
- 通学路の安全対策について
- 砂原地域「地蔵前交差点」の信号機設置について

小坂徳蔵議員 (日本共産党)

- 国民健康保険について
- 後期高齢者医療について
- 教職員の長時間労働解消について
- 用排水路整備と安全対策について

- 加須駅南口に公衆トイレ設置について

新井好一議員 (創政会)

- 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行への備えについて
- 農地中間管理事業の進捗について

齋藤理史議員 (新政会)

- 多様な保育について
- 子育て支援について
- ふるさと納税返礼品について
- 高齢者集合住宅について
- 汚泥肥料について

中條恵子議員 (公明党)

- 自転車の安全利用のために災害に強いまちづくりのためにパートナーシップ制度の導入について

野中芳子議員 (立憲民主党)

- 企業誘致について
- 農業政策について
- コロナ感染症対策について
- 認知症対策について

吉田健一議員 (創政会)

- 加須市公共施設等個別施設計画について
- 商店街共同施設支援事業について
- 種足コミュニティセンター施設について
- 元騎西老人福祉センターの活用について



中川上流地区国営かんがい排水事業の概要は

竹内 政雄議員

竹内 中川上流地区国営かんがい排水事業の概要をお伺いします。

都市整備部長 当事業は、一級河川中川を流域とする加須市、羽生市、久喜市及び幸手市の4市が対象区域となっております。本市においては、主に中川周辺の大越・樋遣川地区のほぼ全域、不動岡・三俣地区の一部、大利根地域のほぼ全域が対象区域となっております。主な整備内容は、土地改良区が管理している排水路の改修や排水機場4カ所、調整池6カ所の整備などを行っていく予定です。また、

これらの施設の整備によって湛水が解消された農地において、高収益作物導入促進事業も実施する予定となっております。

竹内 総事業費と、市が負担する額をお伺いします。

都市整備部長 総事業費は約731億円で、本市の負担金額は合計で約60億円と試算しています。

小・中学校の不登校対策を

大内 清心議員

大内 本市のいじめの現状及び対策をお伺いします。

学校教育部長 令和3年度に認知したいじめの件数は、小学校62件、中学校20件であり、令和2年度より小学校で32件、中学校で2件増加しています。市を挙げて、毎学期にいじめ撲滅期間を設定し、いじめをなくすよう取り組んでおります。

大内 登校したくてもできない児童・生徒に、タブレット端末を活用し、授業を受けられる体制づくりが急務です。今後の授業で端末の活用方法について考えをお伺いします。

教育長 市教育センターの機能強化を図り、適応指導教室「学習室ピア」での双方向型のオンライン授業配信を計画しています。不登校児童・生徒への教育機会の確保のため、今後も端末の活用も含め、多様な学びの場の充実を図ってまいりたいと考えております。

自治体システム標準化・共通化についての考えは

池田 年美議員

池田 令和4年10月7日、地方公共団体情報システム標準化基本方針が閣議決定されました。自治体システム標準化とは、全国約1700の自治体が、令和7年度末までに、デジタル庁が整備するマルチクラウドであるガバメントクラウドを活用した標準準拠システムに移行するという取組です。市として今後のガバメントクラウドを活用した自治体システムの標準化・共通化への移行についての考えをお伺いします。

市長 自治体においては住民記録、税、福祉など、国が定めた20の業務について、標準化基準に適合したシステムの利用が義務付けられました。市としては、十分な作業期間を設けるとともに、国の補助金を活用し、情報セキュリティの確保に努めながら、令和7年度末までの標準準拠システムへの移行を円滑に進めてまいりたいと考えております。

ヤングケアラー支援を

森本 寿子議員

森本 ヤングケアラーの実態調査、支援が必要な子どもへの把握方法、支援拠点となるような支援体制及び認知度を上げる周知についてお伺いします。

学校教育部長 各学校に確認した結果、小学生19名、中学生9名がヤングケアラーだと思われれます。関係各課と連携を図り、市独自に必要な調査を実施しながら、該当児童・生徒の早期発見を学校にも働きかけます。今後、教育の面から医療、介護及び福祉の面へと広げ、必要な支援が行き届くよう努めるとともに、ヤングケアラーの認知度向上については、子どもと教員の温かな人間関係の中で周知を継続してまいります。

森本 教育相談体制の充実及び教育・福祉・介護・医療の連携による今後の支援についてお伺いします。

教育長 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる相談体制を強化してまいります。**市長** 認知度の向上、人材育成、相談体制や組織の強化など、各分野が連携した支援策を講じてまいります。

国際交流への取組は

山下 雄希 議員

山下 久喜市、上尾市、春日部市、羽生市及び熊谷市など本市の近隣市をはじめ、県内他市でも海外との姉妹都市提携を結んでいます。国際交流の機会として、そして本市をよりPRしていくためにも、海外と姉妹都市の提携が必要だと思いますが、考えをお伺いします。

市長 本市では、合併前も含め、過去に姉妹都市提携の調査を行ったことはありましたが、提携には至りませんでした。まずは、増加している市内在住外国人との多文化共生に努めるとともに、外国と交流したいと考えている市民や団体の活動を支援してまいります。その上で、海外の都市との縁ができ、機運が盛り上がってきた際には、海外都市との交流、その先に姉妹都市提携なども期待してまいりたいと考えております。

県道久喜騎西線バイパスの早期開通に向けて

金子 正則 議員

金子 県道久喜騎西線バイパスはさいたま栗橋線から市内の国道122号線を結ぶ、加須駅南口のスーパーシティ構想にも大きな影響のある道路だと思いますが、早期開通に向けての考えをお伺いします。

市長 当バイパスは埼玉県北東部の人流や物流など、地域と人をつなぐ重要な幹線道路です。病院を核とした加須駅周辺の新たなまちづくり構想においても、東西の骨格を形成する道路整備により、都市機能の集積が図られ、また、民間への土地利用の誘導により、周辺地域の活性化が期待されるものとなっております。この早期整備を目的とし、令和3年7月に久喜市と県道久喜騎西線バイパス建設促進期成同盟会を設立し、令和4年11月18日には、直接県に要望書を提出し、前向きな回答をいただいております。

高齢者福祉の充実を

赤坂 和洋 議員

赤坂 在宅医療及び介護サービス提供体制の充実についての考えをお伺いします。

市長 高齢者や認知症の方が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らし続けることができるよう、さまざまな生活支援や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を進めております。また、医療と介護を結ぶ仕組みとして、医師やケアマネージャー、看護師等の在宅医療・介護関係者が、パソコンやスマートフォンを使い、高齢の患者の日々の健康状態、ケアの方針などをリアルタイムで共有できる「北彩あんしんリング」というシステムがあり、令和4年10月末現在で、市内72カ所の医療機関・介護サービス事業所で効果的に活用されています。今後も、医師会の協力をいただきながら、在宅医療と介護連携に関するさまざまな相談に応じるなど、サービス提供体制の充実を図ってまいります。

サウンディング調査の進捗状況は

関口 孝夫 議員

関口 病院を核とした加須駅周辺の新たなまちづくり構想の策定が終着に向かっていきます。今回初めて取り入れたサウンディング調査は、民間活力の活用に一番大切なものだと感じています。サウンディング調査で、関心を示した民間事業者についてお伺いします。

都市整備部長 現時点で28事業者が関心を示しており、業種別の内訳は、建設業4社、商工業7社、農業3社、医療・保健・福祉9社、総合2社、大学1校、その他2社となっております。

関口 事業者が関心を示している具体的な進出場所についてお伺いします。

都市整備部長 構想案の4つのゾーンごとに、優先的まちづくりゾーンに17事業者、一体的まちづくりゾーンに8事業者、まちなかにぎわい創出ゾーンに2事業者、段階的まちづくりゾーンに1事業者が関心を示しております。

学校給食におけるアレルギー対策の状況は

原田 悟議員

原田 アレルギー対策として、学校給食予定表「当給食センターアレルギー対象者表示 アレルゲン品目」に「クルミ」を追加する準備状況について伺います。

学校教育部長 本市では、現在、加須、騎西、北川辺の学校給食センターで、それぞれの栄養士が献立を作成し、提供月の前月に予定献立表を全家庭に配布しています。その際、アレルギー対応を必要とする児童・生徒の保護者から、学校に提出された、医師が作成する「学校生活管理指導表」を基に主なアレルゲンについて予定献立表に記載し、周知をしています。現在、センターごとに表記が異なっているクルミを含むアレルゲンの記載については、今後、消費者庁の食品表示基準を参考にしながら、より望ましい記載方法を検討し、子どもたちが安心して食べることのできる学校給食の提供に努めてまいります。

パストラルかぞの施設整備、修繕は

中島 正和議員

中島 加須文化・学習センターパストラルかぞの顔でもあるピラミッド型のエントランスホールガラス面の損傷、ひび割れ、それに伴う雨漏り対策について伺います。

生涯学習部長 当施設は、平成6年の建設から28年経過しており、エントランスホールのガラスに、経年劣化や気温の寒暖差によるひび割れが発生しています。建設の際に、破損しても飛散しにくく落下しにくい網入りガラスとし、さらにガラスにフィルムを貼り、ガラスが落下しないようにしています。現在、毎日目視による安全点検を行っています。また、継続的に強い雨が降った際に雨漏りが発生するため、空中に日よけを兼ねたシートを設置し、床に直接雨漏りさせないよう対策を講じています。今後も、利用者が安全で快適に施設が利用できるよう対応を検討してまいります。

学校トイレへの生理用品の設置状況は

及川 和子議員

及川 子どもの尊厳を遵守し、学校生活が安心して送れるよう、私は令和4年第3回定例会において、学校のトイレ内に生理用品を設置することを求め、一般質問を行いました。その際、学校教育部長から、既に設置している学校が6校であるという答弁があり、教育長からは、設置については、今後、実態に応じて校長会などで進めていくという答弁がありました。その後、6校から増えているのか伺います。

学校教育部長 学校トイレへの生理用品の設置については、例えば小学校であれば主に高学年の女子児童が使用するトイレに、中学校であれば各階の女子トイレに、というように、児童・生徒の発達の段階や学校の実態に応じて設置しています。令和4年11月22日現在、市立小学校22校、中学校8校全ての学校に設置を完了しております。

「内部通報」の指導は徹底されているのか

池田 裕美子議員

池田 昨年、コロナビアのオリンピック選手団の事前キャンプを本市が受け入れた時に、立替払いと、市内事業者への架空請求書作成依頼という違法行為を重ねた課長がいました。課長から違法行為を持ちかけられた主幹は内部通報をする義務を果たすことなく、加担してしまいました。内部通報によつて職員は守られます。現在に至るまでに、職員に対して内部通報の重要性をどのように指導されてきたのか伺います。

総務部長 令和4年6月1日から公益通報者保護法が改正されたことを受け、加須市職員等の内部公益通報に関する要綱を新たに制定し、法律と要綱により対応しています。具体的には、総務部長から各部課長宛てに、要綱の制定に伴う制度周知についての文書を送り、公益通報者の保護などを含む制度の周知を図っております。

埼玉一の米どころを守る ため次期作支援を

佐伯 由恵 議員

佐伯 本市は埼玉一の米どころです。2021年に続き、22年も米価が低迷し、さらに農業生産資材が高騰していて、農家は今後、米作りが続けられるかどうかの窮地に立たされています。春肥は80%も値上がりし、肥料の高騰で21年の米価暴落よりひどいと生産者は言っています。今、埼玉一の米どころが守れるかどうか、市長の政治判断が強く問われています。留保財源16億円のうち1億円を活用し、農業経営体2341戸を対象に支援しよう市長に強く求めます。考えをお伺いします。

市長 本市の農業を取り巻く状況については十分認識しており、農家に対しては、これまでも必要な局面で必要な支援をしてまいりました。今後も状況の変化に応じ、国や県の動向も注視しながら、支援すべき対象、内容及び規模を随時検討してまいります。

加齢性難聴に対するきめ 細かな施策を

松本 英子 議員

松本 加齢性難聴を放置すると、認知症のリスクが高まると言われています。65歳以上の難聴者が補聴器を約6カ月間着けた後の言葉の聴力検査では、約49%が改善されたという研究報告もあり、放置しないことが大切です。高齢者の健康を支える施策についてお伺いします。

福祉部長 現在実施しているフレイル予防の普及啓発や訪問指導、ふれあいサロン事業、体操や脳トレ及び認知症講演会等の取組を継続し、健康づくりに取り組んでいただくことが、認知症の予防につながるかと考えております。

松本 実態把握のため、市で行う健診に聴力検査を加えることについての考えをお伺いします。

健康医療部長 後期高齢者健康診査において、全ての医療機関で聴力検査を実施するには専用機器が必要であり、費用面や配置場所の確保など課題もありますので、今後、医師会との協議調整の中の項目の一つとして研究してまいります。

後期高齢者医療の患者負担の状況は

小坂 徳蔵 議員

小坂 後期高齢者医療は2022年10月から一定以上の所得がある方に対して、窓口負担を2倍に引き上げました。緩和措置として3年間は増額分の上限を月3千円としています。年間3万6千円の負担増です。3年後になると患者負担は年間約16万円になり、加入者の平均所得の約32%を占めることとなります。現状の認識についてお伺いします。

市長 国が実施した国民生活基礎調査の高齢者世帯の結果を見ますと、「大変苦しい」「やや苦しい」は合わせて50.4%です。また、窓口などでは、複数の医療機関にかかっているため、負担が増えるのは非常に困るという意見等を多数いただいています。年金を収入源とする高齢者世帯は、家計に占める医療費の支出割合が特に高いため、大きな負担になるということは、市としても認識し、事務に臨んでおります。

農地中間管理事業の進捗は

新井 好一 議員

新井 農地中間管理事業は次の段階である、ほ場整備に結びついていないと思いますが、今後の事業の推進についての考えをお伺いします。

市長 本事業による農地の集積や集約化、経営規模の拡大は、農地の有効活用や耕作放棄地の解消、農業経営の効率化、作業コストの低減など、非常に有効な手段であり、また、ほ場整備の前提としても有用であると考えております。ただし、ほ場整備事業を進めていくには、国、県及び市の予算が必要であり、予算規模や地域のバランスなどにより、一度に事業を行うことが非常に困難であるため、まずは農地中間管理事業による区画拡大を優先して進めながら、それぞれの地域での集積状況等を勘案し、県や中間管理機構とも連携しながら、順次取り組んでまいります。

汚泥肥料を導入すること についての考えは

齋藤 理史 議員

齋藤 農業生産資源の価格が高騰する中、コストの削減や資源のリサイクルのため、汚泥肥料の導入についての考えをお伺いします。

市長 農業用の化学肥料の代わりに下水汚泥を肥料化して利用することは、地域資源の有効利用、あるいは食料、農業等の持続性にもつながる有効な取組であると考えています。本市では、平成9年度から民間処理業者と連携し、下水汚泥の肥料化に取り組み、おり、処理業者から商社を通して国内外に販売されています。なお、株式会社かぞ農業公社でも、その下水汚泥肥料の一部を使用しています。化学肥料から有機肥料へ転換していくことで環境負荷軽減となり、国の農業の方向性に沿ったものになると考えておりますので、今後の国等の動向も注視しながら進めてまいりたいと考えております。

避難所にオストメイト専用 の簡易トイレの備蓄は

中條 恵子 議員

中條 オストメイト（人工肛門・人工膀胱造設者）トイレが必要な方が、いざ災害で避難となった場合、避難先の施設にオストメイトトイレが備わっている所は少ないため、オストメイト専用の簡易トイレを備蓄している自治体があります。本市の現状、今後についての考えをお伺いします。

福祉部長 令和4年3月31日現在、オストメイトの方を含む177人が身体障害者手帳を所持しています。現時点で指定避難所に専用簡易トイレはございませんが、水害時の高齢者避難段階で開設する避難所5施設のうち、3施設にはオストメイト対応トイレがあります。また、震災時に拠点避難所となる小中学校では23施設のうち7施設に同トイレが整備されています。専用簡易トイレの整備については、拠点避難所地域内にお住いのオストメイト対応トイレの利用者の状況などから、その必要性を判断してまいります。

農業はどうなる？問題解 決に向けて

野中 芳子 議員

野中 農家の方とお話をすると「農業をやめようと思うのは、人が駄目になるか、機械が駄目になるとき」と言われます。市での後継者育成の取組と離農した農家が所有している農業用機械を市がまとめて管理し、貸し出すことを市主導で取り組むことへの考えをお伺いします。

経済部長 問題として、農業用機械の保管スペースの確保、保管場所から使用場所までの輸送、メンテナンス費用、市への譲渡費用または賃借料、取り扱い方法や操作技術、事故や故障等における責任や補償、機械の廃棄処分及び市が貸し出す場合の使用料価格の設定などがあり、市主導の取組は難しいと考えます。市としては、離農農家の農業用機械は、取り扱い事業者での買取や処分などを案内し、必要に応じて認定農業者等の農家や農業法人に情報提供してまいりたいと考えております。

元騎西老人福祉センター の活用についての考えは

吉田 健一 議員

吉田 元騎西老人福祉センターは開館以来、憩いの場として大勢の方に利用され、令和2年度末に廃止となりました。この場所はいざいや古代ハスが毎年立派に花を咲かせています。これからの観光は、コロナ禍で新しいライフスタイルが生まれ、場所が人の中に溶け込めるような資源の活用が求められてくると思います。当センターを取り壊し、更地にして、椅子に座って花を見て心を癒す、また、子どもたちが遊べるような空間をつくるなどの資源活用についての考えをお伺いします。

経済部長 当センターは、耐震性の問題から建築物自体の活用は大変困難な状況ですが、跡地については、本市の観光資源である騎西城に隣接した場所に位置しており、重要な立地であることから、駐車場や広場などとして、今後有効な利活用が図られるよう検討してまいりたいと考えております。

貴重なご意見をいただきました！

第5期市議会モニターとの意見交換会を開催

12月19日(月)、議場において、市議会への要望、提言、その他の意見を広く聴取し、議会運営等に反映させ、市議会の円滑かつ民主的な運営を推進するため、市議会モニターとの意見交換会を開催しました。

当日は、市議会モニター5名と議会運営委員会委員6名のほか、議長及び傍聴議員等の計17名が参加しました。

主な意見等	当日の回答
一般質問や質疑に際し、議員が必要に応じてデータやグラフ等を表記したパネルを活用すれば、より分かりやすいのではないかと。	パネルの持ち込みについては、傍聴者やインターネット中継の視聴者に対するカメラ操作の関係もあり、今後の検討課題といたします。
議会の閉会期間における議員の活動について、詳しく知りたい。	市議会だより及び市ホームページにおいて、市議会主催の市民との意見交換会や議員研修会への参加等について、適宜掲載しています。
コロナ禍の現状において、本会議の様子をインターネット中継により、リアルタイムで視聴でき、大変ありがたい。	今後も、より視聴しやすい環境となるよう、工夫や改善に取り組んでまいります。

◆当日の様子



加須市議会基本条例の事業評価を実施

加須市議会では、平成30年7月に制定した加須市議会の最高規範である加須市議会基本条例第32条第1項の規定に基づき、議会改革の継続的な取組を進めるにあたり、本条例に基づく活動について事業評価を行いました。

議員(会派)ごとに事業を評価し、議会運営委員会が事業評価結果報告書を取りまとめました。

■各条文等の事業評価結果

評価区分	評価区分総数	評価区分割合
A (達成…8割程度目的を達成)	18	72.0%
B (一部達成…5割程度目的を達成)	3	12.0%
C (未達成…3割以下)	4	16.0%
合計	25	100.0%

※事業評価の結果について、詳細は市議会ホームページをご覧ください。



※前文、第1条から第4条まで、第11条、第16条、第31条、第32条第2項及び第33条は、評価の対象外です。

加須市議会本会議、委員会等の傍聴者の皆様へ

令和5年第1回定例会は、2月13日に開会し、3月14日まで行われています。

本定例会を傍聴する場合には、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するとともに感染を予防するため、次のとおりお願いいたします。

傍聴する場合には、次のとおりお願いします

- (1) 入口にある消毒液で手を消毒してください。
- (2) マスクを着用してください。
- (3) 市役所本庁舎1階正面入口に検温器がございますので、検温をお願いします。
(体温が37.5度以上の方は、傍聴できません。)
- (4) 傍聴席の座席は、1つおきに離れて座ってください。

次の場合には、傍聴できません

- (1) 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- (2) 重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- (3) 上記以外の方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合
- (4) その他、ご自身の症状に不安がある場合

※インターネットで本会議のライブ中継・録画中継を実施していますので、ご覧ください。



本会議をライブ中継と録画中継でご覧になれます。ぜひ、ご覧ください。

加須市議会 中継 検索



本会議をインターネットで中継

編集後記

いつも市議会だよりをご覧いただき、ありがとうございます。

令和4年6月1日に、市民永年の悲願でありました三次救急医療を担う済生会加須病院が開院しました。本年は、この病院を核とした加須駅南口周辺のまちづくりがスタートします。本市の新しい顔となるものであり、議会も市民の皆さまと共に、協働によるまちづくりに取り組んでまいります。

加須市議会定例会は、今年4回開催されます。これからも本市議会の最高規範である基本条例に基づき、議会力と議員力を高め、市民に開かれた議会を目指すとともに、広報の充実に向けてまいりますので、皆さまのご意見・ご要望をお寄せください。

(編集委員 小勝裕真)

市議会だより編集委員会

委員長 池田年美 副委員長 中島正和

委員 吉田健一 及川和子 山下雄希 小勝裕真 小林利一

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

